

# 日刊金属

電線

## 共通の基準価格表撤廃に向けて 企業コンプライアンスの強化を目指す 日本電線工業会

日本電線工業会は11日、「共通の基準価格表に依拠しない取り引きの早期実現」に関する記者会見を開いた。

建設・電販向け電線の取り引きについて、以前までは共通の基準価格表・共通の銅ベース・共通の値引率を用いて取り引きを行なっていたことが、競争を実質的に制限し、独占禁止法第3条(不当な取引制限の禁止)の規定に違反するとして、2010年11月18日公正取引委員会から当該建設・電販向け電線の製造業者及び販売業者に対し、排

除措置命令及び課徴金納付命令が下されたことを元とする。

これまで共通の基準価格表が違反行為の温床として機能していたことから、今後は再発防止のためには、その廃止が不可欠との指摘を各方面から受けており、会員各社ごとに顧客との個別の協議に基づいて個別の課かによる取り引きを実現すべく、更なる企業コンプライアンスの強化を並びに会員各社及びその顧客、また各関連企業への協力を強く望むとした。

三井  
金属

## 亜鉛建値は5千円引き下げの20万円 月内建値平均は20万3,000円に

三井金属鉱業は12日、亜鉛建値を5,000円引き下げの20万円とし同日から実施すると発表した。

これはLME亜鉛相場が軟調に推移したことを受け引き下げられたもので、このまま建値に変更がなければ、月内建値平均は20万3,000円となる。

12日入電のLME亜鉛相場がセツルメントでは1,950.5ドルとなり、これと同日発表のTSレート79.52円から換算した採算価格は15万5,100円となり、建値と採算価格からみ

た諸掛かりは4万4,900円となる。

直近6ヶ月の建値推移は次の通り。

(単位キロ当たり円、かつて内は改定日)

・2012年		
5月	=205(7) 200(14) 195(18)	平均198.7
6月	=195(1) 190(22)	平均193.6
7月	=195(2) 190(23)	平均193.3
8月	=190(1) 185(20) 190(27)	平均188.9
9月	=190(3) 195(7) 200(12) 205(18) 210(24)	平均200.8
10月	=210(1) 205(9) 200(12)	平均203.0

## 9月のアルミスクラップレポートおよび10月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジ、LME現物後場買いは  
2000-2300ドル、スクラップは  
据え置きから前月最終価格より+5円

■概況:前半は米ISM発表の8月の製造業

景況感指数が3年一ヶ月ぶりの低水準だったことや中国鉱工業生産、貿易収支が予測を大きく下回るなどマイナス材料もあったが中国温家宝首相が「GDP7.5%は維持できる」との声明や、当局が12兆1000億円規模

のインフラ整備計画を発表したことを好感2192ドルと約340ドル急騰しての前半締めとなつた。

後半は日銀が資産買い入れ資金を70兆から80兆円に拡大したことや米住宅関連指標が予想外によかった事など好材料があつたが、スペイン政府のECBへの救済要請がもたついたことやユーロ圏の銀行監督権一元化について独仏でのコンセンサスが得られなかつた

ことを嫌気し下落。9月1日現在、LME(現物後場)2095ドルと約100ドル下落のスタートとなつた。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+4.5%の73万5999台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+24.1%の28万8478台(前年比-8.1%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+2.1%(昨年比-5.5%)の7万7500戸であった。

また貿易指標を見ると、財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前月比-12.2%の144t、2次合金が+33.4%の842t、スクラップが-12.3%の1万101t。輸入は新地金が前月比-6%の14万9617t、2次合金が+4.1%の9万8646t、スクラップが+30.8%の649t、合金スクラップは-1.5%の2729tとなつた。

■前月の国内指標:日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板

類・押出生産合計は前月比-18.2%の14万4020t(昨年対比-5.3%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前月比-14.9%の5万9938t(昨年対比-1.5%)であった。

■見通し:今月は自動車生産に関してもついに一時の好調さは消え、自動車販売や住宅関連はついに悪化が感じられた。欧州懸念は独憲法裁判所で欧州救済基金の設立が認められたことやスペインが緊縮財政に応じるなどしたことからかなり後退し。

自動車生産は前年比+14.5%の73万5999台と13カ月連続上昇、ただかなりの伸び悩みが見受けられ今後を危惧。また国内自動車販売台数が28万8478台と前年比-8.1%と悪化。自動車関連のアルミ2次合金生産はついに昨年対比+1.5%と6カ月ぶりの下落、今後も販売台数の減少による生産調整

	6月	7月	8月
生産台数	89万3149台	92万2685台	73万5999台
前月比	+20.1%	+3.3%	-20.2%
昨年対比	+20.3%	+16.7%	+4.5%
	7月	8月	9月
販売台数	32万8549台	23万2312台	26万8478台
前月比	+3.6%	-29.2%	+21.1%
昨年対比	+36.1%	+7.3%	-8.1%
	6月	7月	8月
新設住宅着工戸数	7万2566戸	7万5421戸	7万7500戸
季節調整 前月比	+7.3%	+4%	+2.1%
昨年対比	-0.2%	-9.6%	-5.5%
	6月	7月	8月
輸入			
新地金	11万9908t	15万9293t	14万9617t
前月比	-9.1%	+32.8%	-6%
2次合金	9万1000t	9万4763t	9万8646t
前月比	-13.5%	+4.1%	+4.1%
スクラップ	687t	496t	649t
前月比	-3.4%	-27.8%	+30.8%
合金スクラップ	2828t	2690t	2729t
前月比	-23.1%	-4.9%	-1.5%

輸出	6月	7月	8月
新地金	316t	164t	144t
前月比	-20.5%	+40.4%	-12.2%
2次合金	837t	631t	842t
前月比	+16.9%	-24.6%	+33.4%
スクラップ	12736t	11524t	10101t
前月比	+26.5%	-9.5%	-12.3%

